

気体の性質を見いだす【関係付ける】クラゲチャート

【校 種 ・ 学 年】 中学校第1学年

【教 科 ・ 領 域】 理科

【実 践 の 概 要】

- 1 単 元 名 1 身のまわりの物質 2章 気体の性質
- 2 単元の目標 身のまわりの物質についての観察・実験を通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解するとともに、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身につける。

3 本時の実際

(1) 本時の目標

酸素を発生させてその性質を調べる実験を通して、それぞれの気体の性質を見いだす。

(2) 本時の展開

時	主な学習活動	研究の視点
導 入	○前時の復習：気体の補集法を確認する。 ○本時の見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 酸素を発生させて性質を調べよう。 </div>	
展 開	○実験手順や注意事項の説明を聞く。 ○実験で気体を発生させる。(グループ) ○ 発生させた気体を「色」「におい」「線香の火」「石灰水」を試して、結果を記載する。(個人思考) ○ 実験結果を交流し、新たな気づきや考えを加筆する。(グループ)	視点2 (2) 「多様な情報を収集する」 視点2 (6) 「協働して課題解決する」
終 末	○実験結果について教科書で確認し、酸素の性質をまとめる。 ○次時の予告：二酸化炭素の性質を調べる。	

4 成果と課題

- 実験結果をまとめる際、羅列するのではなく、クラゲチャートを使用したことで、気体の性質を視点ごとに整理することができた。
- 実験結果を交流したときに、加筆事項に色を付けていれば、新たな気づきや考えをはっきりと区別することができた。

5 ツールに見られた思考の姿

